

区自立支援協議会の特徴的な取組み・成果及び今後の計画（令和4年3月）

区	特徴的な取組み・成果	今後の計画
北	<ul style="list-style-type: none"> ■ 相談支援事業所連絡会の開催 ▷月に1回の開催し、北区・東区管内の相談事業所から、ケースを出してもらい、ケース検討を行った。また、各相談支援専門員にファシリテーターを務めてもらい、技術の向上を図った。 ■ グループ別検討の実施 ▷昨年度に引き続き、3つのテーマ(相談支援・地域生活拠点・療育)別に班を編成。地域課題の整理、課題解決するための検討を行った。来年度の班活動についても検討した。 ■ 障がい児支援者向け研修会の開催 ▷12月13日に豊栄地区公民館で開催。事業所職員等によるパネルディスカッションや、グループワークを行った。 ■ 新潟市小学校教育研究会（市小研）との連携 ▷療育班の働きかけにより、市小研において、小学校と福祉の連携事例の紹介、トライアングルプロジェクトの推進と連携シートの活用について共有を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 相談事業所連絡会で抽出された課題を区自立支援協議会において共有し、地域での課題を把握。さらに解決の取組みを検討する。 ■ 研修会（テーマ未定）の開催 ■ 地域生活支援拠点等に限定せず、今後協議会で検討すべき事項を把握するため、委員から提出してもらった北区のラフイメージ（現状・課題・強み・目指す姿など）を集約し、それをもとに課題抽出やグループ別活動などを進めていく。 ■ 療育班を中心に、学校との連携づくりを継続していく。
東	<ul style="list-style-type: none"> ■ 相談事業所連絡会の開催 ■ 地域生活拠点整備事業について ▷昨年度の西蒲区の取組みを参考に、東区の課題や強み、目指す姿などの洗い出しを行った。 ▷「児」「者」「高齢者」と3つの年代に分けて協議を進め、ラフイメージを作成し、意見交換した。 ■ ケース検討会の開催 ▷相談事業所連絡会で検討したケースについて、地域課題を検討した。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 相談事業所連絡会、ケース検討会の開催 ■ 地域生活拠点整備事業についての検討を継続 ■ ワーキンググループの立ち上げ 「療育」「行動障がい」「計画相談」 ■ 連絡会の開催 療育関係者、生活介護、グループホーム等

<p style="text-align: center;">中 央</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ ケース会議の開催 <ul style="list-style-type: none"> ▷ ケース検討を通じた地域課題の把握と整理 ▷ 教えて地域生活定着支援センター（研修） ▷ 虐待防止研修（権利擁護班共催）（研修） ■ 相談支援事業所連絡会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ▷ 相談支援事業所を対象とした情報交換や事例検討、GSV を実施。 ■ 就労支援連絡会開催 <ul style="list-style-type: none"> ▷ 就労移行支援事業所を参集し、研修を通して新たな支援方法の気づきや就労に関する課題の収集を行った。 ■ 8050 連絡会 <ul style="list-style-type: none"> ▷ 区内 5 包括へ定期的に訪問、情報の共有を図り 8050 世帯への早期支援、圏域ケア会議へ協力。 ■ 地域生活支援拠点を考える <ul style="list-style-type: none"> ▷ 協議会、ケース会議にて中央区で安心して暮らせる地域を作るためにと題し、強み探し、アクションプランを作成。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 相談支援事業所連絡会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・ 計画相談員を対象にしたケース検討や研修会等を開催し、相談員一人ひとりのスキルアップを図る。 ■ 子ども連絡会の開催（新設） <ul style="list-style-type: none"> ・ 特別支援学校、福祉関係者等の情報共有及び連携を図る。 ■ R3 年度拠点を考える活動からの WG（新設） <ul style="list-style-type: none"> ・ 障がい者のライフステージ毎の課題抽出とスムーズな連携、「主に障がい者の高齢期」をテーマに WG を設置し取組む。 ■ 研修会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域生活定着研修（続編）ほか。
<p style="text-align: center;">江 南</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域生活支援拠点等整備に向けた取組み <ul style="list-style-type: none"> ▷ 協議会委員によりこれまで 4 回実施したワークショップのまとめを行い、今年度末時点での整備状況について中間報告の実施。 ■ 児童支援部会の取組み <ul style="list-style-type: none"> ▷ 福祉と教育の連携をテーマに児童支援セミナー開催。（R3.7.29）参加者の 85%が内容について必要性を感じると回答。 ■ ケース会議の開催 <ul style="list-style-type: none"> ▷ ケース検討（IP 法）や相談員の意見交換会等。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域生活支援拠点等整備を重点事業として引き続き取組む。協議会委員を中心に新たにワーキングを設置し、より具体的な検討を行う。 ■ 児童セミナーの開催 <ul style="list-style-type: none"> 教育と福祉の連携をテーマに開催予定。 ■ ケース会議の開催 <ul style="list-style-type: none"> ▷ 相談支援専門員により IP 法に基づきケース検討及び、意見交換会等の実施。

秋 葉	<p>■障がい児支援</p> <p>▷支援ファイルの配布を継続し、活用方法を周知すると共に活用状況を把握</p> <p>▷「障がい児つながる支援セミナー」を開催し、連携に向けた意見交換等を行うことができた。 (R3.8.2 学校・福祉関係者等 49 名参加)</p> <p>■医療と福祉の連携</p> <p>▷医療的ケアが必要な障がい児者の家族が情報交換等を行う「集いの場」に代わる取組みとして「情報共有シート」を配付し、紙面を介しての情報共有を図った。</p> <p>■地域の移動について</p> <p>▷「通学」に関する実態把握のため、特別支援学校に通う児童・生徒の保護者及び先生方にアンケートを実施し、集計結果を基に課題の検討を行った。</p> <p>■地域生活支援拠点等事業について</p> <p>▷ワークショップ形式で地域にあると良い資源や支援を抽出し、特に多かった「体験の機会・場」についてアイデア出しを行った。</p> <p>■区相談連絡会の開催</p> <p>▷月に 1 回、区内の相談支援専門員が集まり、事例検討やグループスーパービジョンを実施。</p>	<p>■障がい児支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援ファイルの配布及び活用方法の周知を継続する。 ・「障がい児つながる支援セミナー」の開催。 <p>■医療と福祉の連携</p> <p>「集いの場」を引き続き実施。</p> <p>■地域の移動について</p> <p>▷「通学」に関するアンケート結果から課題を整理し、具体的な対応を検討。</p> <p>■地域生活支援拠点等事業について</p> <p>▷「体験の機会・場」の機能について、既存の社会資源を念頭に置きながら、より具体的な検討を行う。</p> <p>■区相談連絡会の開催</p>
--------	--	--

<p>南</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域生活支援拠点等の整備に向けた取組み <ul style="list-style-type: none"> ▷ 区協議会を計 4 回開催（5/21、8/20、11/19、2/18 オンライン）。うち 2 回ワークショップを実施。 ▷ ワークショップでグループごとに協議した南区の地域資源と課題について全体に共有。第 4 回で拠点等事業との関連などを整理。 ■ 児童のワーキンググループ <ul style="list-style-type: none"> ▷ 関係機関のスキルアップと連携強化を目的とした合同研修会について、内容等を協議。 ▷ 合同研修会は R4 年 6 月開催と決定。 ▷ 放デイ、放課後児童クラブ支援員等を対象に発達障がいに関する研修会を 3 月に開催。 ■ 南区ケース会議の報告 <ul style="list-style-type: none"> ▷ 事例を用いたケース検討 ▷ サービス事業所との意見交換会 ▷ スキルアップのための勉強会 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域生活支援拠点等の整備に向けた取組み <ul style="list-style-type: none"> ・ R3 年度までの検討内容を整理。 ■ 児童のワーキンググループ <ul style="list-style-type: none"> ・ 関係機関合同研修会の開催。 ・ 早い段階から関わっていくためのネットワークづくり。
----------	--	---

西	<p>■途切れない支援連絡会(西・西蒲)の開催 ▷障がい児に対する療育機能の充実を図るため、今年度計4回、保健師や児童相談所、教育支援センター等に集まってもらい、情報共有を行った。</p> <p>■グループホーム連絡会議の開催 ▷西・西蒲区にあるグループホームによる意見交換会(6・12月)を行った。事務局から指定基準に則った運営を毎回呼び掛け適正運営を応援した。</p> <p>■相談支援事業所会議の開催 ▷相談支援事業所相談員が困っていることや相談したいことなどを挙げてもらい、意見交換や情報共有を行った。</p> <p>■西区ケース会議の開催 ▷西区内の全障がい関連事業所に呼びかけ西区における地域生活支援拠点の検討やIP法によるケース検討を行った。(4回)</p> <p>■広報部会の開催 ▷西区自立支援協議会だより発行のため、広報部会を立ち上げた。区協議会委員の中から3名に部会員をお願いし、基幹西を事務局として検討を始めた。</p> <p>■研修会の開催 ▷虐待防止研修会を企画、市相談支援連絡会権利擁護班開催企画に格上げし実施。</p>	<p>■地域課題の解決に向けた、各専門会議の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・途切れない支援連絡会(西・西蒲)開催。 ▷放デイ・児発それぞれの会合と全体会を持ち、活動を展開していく。 ・グループホーム連絡会議(西・西蒲)開催。 ▷年2回(6・12月)の連絡会議を継続。 ・相談支援事業所会議。 ▷年6回(原則隔月内4回はケース会議との同日開催)開催を継続。より参加しやすくなる様、内容を工夫していく。 ・西区ケース会議。 ▷年4回、区内全障がい福祉関連事業所呼びかけ開催を継続(テーマ設定を工夫し開催案内時点で告知できるよう段取りをしていく)。 <p>■西区自立支援協議会だよりの発行 ▷第1号を年度初めに発行予定で準備中(3名の部会員は任期後も継続依頼済)。</p> <p>■研修会の開催 ▷年1回、研修会を継続していきたい。</p>
---	---	--

<p style="text-align: center;">西 蒲</p>	<p>■療育支援会議</p> <p>▷こども支援会議：保育園等発達支援コーディネーター研修会、小学校教頭会等で障がい児福祉制度について説明。</p> <p>▷がく・ふく連携会議（年２回）：学校、福祉サービス事業所間で情報共有を行った。</p> <p>■生活支援会議</p> <p>▷地域課題についての勉強会を開催。</p> <p>▷「障がい福祉サービスと介護保険サービスの連携」（在宅医療・介護連携ステーション西蒲等と共催）、「障がい者虐待」等の勉強会を開催した。</p> <p>■西区・西蒲区グループホーム連絡会議</p> <p>▷西区自立支援協議会と共催し（年２回）、空き状況等を定期的に収集、共有した。</p>	<p>■療育支援会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こども支援会議 ・がく・ふく連携会議 <p>■生活支援会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域生活支援拠点事業の検討から見えてきた課題について掘り下げて検討を行う。 <p>■ケース会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・困難事例の検討及び地域課題の抽出。 <p>■西区・西蒲区グループホーム連絡会議</p>
--	--	--